

予防接種を受けましょう

ポリオの予防接種方法が変更になります。お母さんが赤ちゃんにプレゼントした「病気に対する抵抗力」(免疫)は、生後12か月までにほとんど自然に失われていきます。そのため、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

子どもは発育とともに外出する機会が多くなり、感染症にかかる可能性も高くなります。忘れずに予防接種を受けましょう！

平成24年9月1日から定期予防接種のポリオの接種方法が変わります。

生ワクチン(口から飲む)から不活化ワクチン(皮下に注射)に変更になるため、市で実施していた集団接種(春・秋)は、医療機関での個別接種に変更となります。

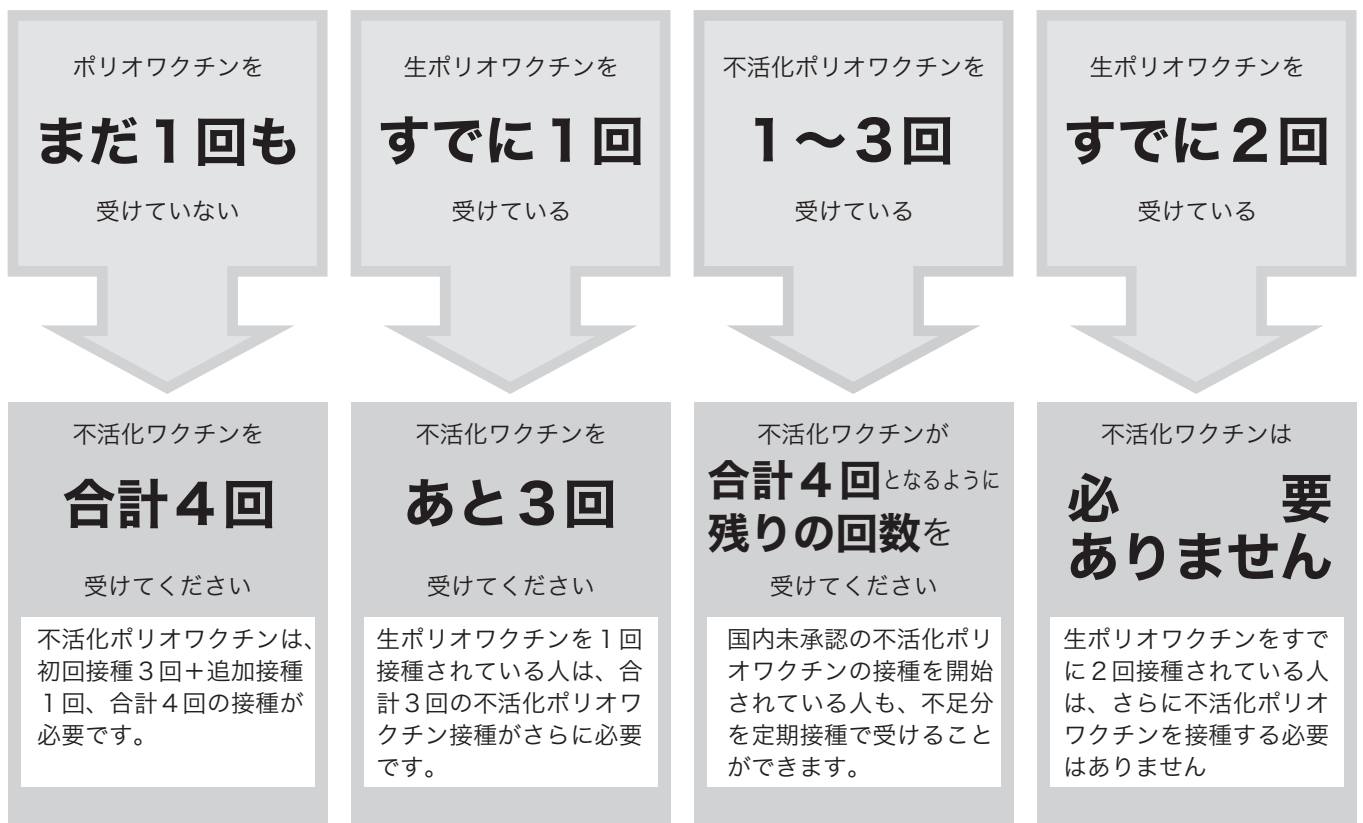
このため、秋に予定していた、集団接種(H23.7月～H24.6月生まれの子)は実施しませんので、個別に接種をお願いします。

※詳細は対象者へ個別通知をしますので、内容を確認して接種をお願いします。



●不活化ポリオワクチン導入による接種方法

どうすればいいの？ポリオワクチン



※平成24年9月1日導入時点では、4回目の追加接種は任意予防接種(自己負担)です。